

中学校 英語科 シラバス

3年間のねらい 学習目標

「英語を学びたい。英語で学びたい。」という積極的な態度を身につけさせながら、英語コミュニケーション能力の育成及び国際社会において英語を情報発信・受信の道具として活用できる人材の育成を目指す。

| | | |
|--------------------------|-----|-----------------------------------|
| 第1学年 英語 (週5時間) | 教科書 | One World English Course ① (教育出版) |
| | 副教材 | 単語集、音声教材など |

学習到達目標

英語に対する興味・関心を引き出し、異なる言語や文化に触れることによって、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を身につける。

1. 自然な英語の発音を身につけ、区別できるようになる。
2. 自分のことや家族の事柄について表現できるようになる。
3. 日常生活における簡単な内容の会話を聞き、理解できるようになる。
4. 簡単な読み物を読み、理解することができるようになる。
5. 簡単なメモや文章を書くことができるようになる。
6. 音声教材などを用いて、日常生活で使う表現をつかえるようになる身につける。

評価の観点

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学ぶ力・人間性等 |
|------|--|--|--|
| 評価規準 | 基本的な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーション(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)に生かすことができる技能を身につけている。 | 身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に応じた基本的な対応ができ、話し手や書き手の意図をおおまかに理解できる。また、それに対しての自分の考えを簡単に述べるができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法や表現などを積極的に身につけて、自分の考えを簡単な英語で表現しようとする意欲がみられる。 ・話し手や書き手の意図をしっかりと理解しようとする姿勢がみられる。 |

学習方法

1. 授業を大切にす。授業中に積極的に英語を使うように心掛ける。
2. 宿題や与えられた課題にしっかり取り組む。
3. ワークブックなどの家庭学習にも励み、積極的に復習する姿勢を身につける。
4. 小テスト等の学習を行い、語彙や文法事項の定着を図る。
5. 自然な英語に慣れるために、音声教材を積極的に活用する。
6. ネイティブスピーカーによる授業では、習った文法事項を積極的に活用し、会話やスピーチ、プレゼンテーションを行う。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週5時間>

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補講等 |
|---------|--|--|--|
| 1 学期 | <ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット 2. ローマ字 3. 人称代名詞 4. be 動詞 5. 複数形 6. 一般動詞 7. 疑問詞を使った疑問 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを読んだり、書いたりできる。 ・人やものの紹介をしたり、質問をしたりすることができる。 ・複数あるものを指し示して説明することができる。 ・現在の動作・状態について説明・質問でき | <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の知識・技能 ・英語を用いての思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 |

| | | | |
|-------------|---|--|---|
| | 文① | <ul style="list-style-type: none"> る。 ・場所や時ついでの情報交換することができる。 ・数や量について説明したり、質問したりできる。 | 【評価方法】 1. 定期考査の成績 2. 学習態度の平常点 (春休みの補講はなし) |
| 2 学 期 | 1. be 動詞の過去形 2. 一般動詞の過去形 3. 現在進行形 4. 疑問詞を使った疑問文② | <ul style="list-style-type: none"> ・過去の動作・状態について説明・質問できる。 ・「どちら」が好きなのかをたずねることができる。 ・だれがするのかをたずねることができる。 ・どのくらいの頻度で行うのか説明できる。 ・理由をたずねる質問と応答ができる。 ・だれのものか情報を交換することができる。 ・今していることを説明し、情報を交換することができる。 | |
| 3 学 期 | 1. 助動詞 2. 未来表現 3. 第3文型 (SVC) 4. there 構文 | <ul style="list-style-type: none"> ・「できること」「できないこと」について説明したり質問したりできる。 ・許可を求めることができる。 ・すべきことやしてはいけないことを説明できる。 ・しなければならないこと、する必要がないことを説明できる。 ・未来のことについて説明し、質問したり答えたりすることができる。 ・人や物の様子を伝えることができる。 ・ものがある場所、人がいる場所について述べ、たずねたり答えたりすることができる。 | |

| | | |
|--------------------------|-----|-----------------------------------|
| 第2学年 英語 (週5時間) | 教科書 | One World English Course ② (教育出版) |
| | 副教材 | 単語集、音声教材など |

学習到達目標

英語に対する興味・関心を高めながら、言語や文化に対する理解を深め、習った文法項目を使ってコミュニケーションを実践する力を身につける。

1. 自然な英語の発音で、会話ができるようになる。
2. 自分の考えや意見を表現することができるようになる。
3. 学校生活や地域での実生活において、実用的な英語で表現できるようになる。
4. 簡単な文章や、掲示・指示を理解することができるようになる。
5. 身の周りの出来事を英語で書くことができるようになる。
6. 各自の英語力に応じた検定(英検など)を取得する。
7. 音声教材などを用いて、日常生活で使う表現を使えるようになる。

評価の観点

| | | | |
|--|-------|----------|--------------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学ぶ力・人間性等 |
|--|-------|----------|--------------|

| | | | |
|------|--|--|--|
| 評価規準 | 基本的な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーション（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）に生かすことができる技能を身につけている。 | 身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に応じた基本的な対応ができ、話し手や書き手の意図をおおまかに理解できる。また、それに対しての自分の考えを簡単に述べることができる。 | ・基本的な文法や表現などを積極的に身につけて、自分の考えを簡単な英語で表現しようとする意欲がみられる。 ・話し手や書き手の意図をしっかりと理解しようとする姿勢がみられる。 |
|------|--|--|--|

学習方法

1. 授業を大切にする。授業中に積極的に英語を使うように心掛ける。
2. 宿題や与えられた課題にしっかり取り組む。
3. ワークブックなどの家庭学習にも励み、積極的に復習する姿勢を身につける。
4. 小テスト等の学習を行い、語彙や文法事項の定着を図る。
5. 自然な英語に慣れるために、音声教材を積極的に活用する。
6. ICT教材を取り入れ、積極的に発話する機会を設ける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週5時間>

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補講等 |
|-----|---|--|---|
| 1学期 | 1. 第4文型(SV00) 2. that節 3. 過去進行形 4. 接続詞 5. 不定詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・「人にものをあげる」などの文を理解して使うことができる。 ・自分の考えを説明することができる。 ・過去にしていたことを伝える文を理解して使うことができる。 ・いつするのか「したのか」を説明することができる。 ・仮定の話をするすることができる。 ・理由を説明することができる。 ・好きなこと、楽しいことを説明したり質問したりできる。 ・自分がしたいことを説明することができる。 ・理由・目的を説明することができる。 ・何をするための時間や機会であるかを説明することができる。 ・人やものについて情報を加えて説明することができる。 | <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の知識・技能 ・英語を用いての思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査の成績 2. 学習態度の平常点（提出物、小テスト、復習テストの成績など） |
| 2学期 | 1. 動名詞 2. 疑問詞＋不定詞 3. 形式主語の文 4. 比較表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・「～すること」などを表す文を理解して使うことができる。 ・「何をすべきか」「どこへいくべきか」などを表す文を理解して使うことができる。 ・複数のもや人を比較することができる。 ・人やものを比較して意見を言ったり、説明したりできる。 ・人やものを比較して質問できる。 ・比較した中でいちばんのものを説明することができる。 | |

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 3 学期 | 1. 受動態 2. 関節疑問文 3. 感嘆文 4. 第5文型(SVOC) | <ul style="list-style-type: none"> ・されたり、してもらったりするものごとについて、説明することができる。 ・ものごとを行った人についての情報を含めて、説明することができる。 ・疑問文が別の文の中に含まれた文や、感嘆文を理解して使うことができる。 ・英文の構造について理解する。 | |
|---------|---|--|--|

| | | |
|--------------|-----|-----------------------------------|
| 第3学年 | 教科書 | One World English Course ③ (教育出版) |
| 英語 (週5時間) | 副教材 | 単語集、音声教材など |

学習到達目標

英語に対する興味・関心を高めながら、言語や文化に対する理解を深め、習った文法項目を使ってコミュニケーションを実践する力を身につける。

1. 自然な英語の発音で、会話ができるようになる。
2. 自分の考えや意見を表現することができるようになる。
3. 学校生活や地域での実生活において、実用的な英語で表現できるようになる。
4. 簡単な文章や、掲示・指示を理解することができるようになる。
5. 身の周りの出来事を英語で書くことができるようになる。
6. 各自の英語力に応じた検定(英検など)を取得する。
7. 音声教材などを用いて、日常生活で使う表現を使えるようになる。

評価の観点

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学ぶ力・人間性等 |
|--------------|--|--|--|
| 評価 規 準 | 基本的な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーション(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)に生かすことができる技能を身につけている。 | 身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に応じた基本的な対応ができ、話し手や書き手の意図をおおまかに理解できる。また、それに対しての自分の考えを簡単に述べることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法や表現などを積極的に身につけて、自分の考えを簡単な英語で表現しようとする意欲がみられる。 ・話し手や書き手の意図をしっかりと理解しようとする姿勢がみられる。 |

学習方法

1. 授業を大切にする。授業中に積極的に英語を使うように心掛ける。
2. 宿題や与えられた課題にしっかり取り組む。
3. ワークブックなどの家庭学習にも励み、積極的に復習する姿勢を身につける。
4. 小テスト等の学習を行い、語彙や文法事項の定着を図る。
5. 自然な英語に慣れるために、音声教材を積極的に活用する。
6. ICT教材を取り入れ、積極的に発話する機会を設ける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週5時間>

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補講等 |
|---------|----------------------------------|---|--|
| 1 学期 | 1. 現在完了形・現在完了進行形 2. 後置修飾(分詞句) | <ul style="list-style-type: none"> ・過去から現在まで続いていることを説明することができる。 ・継続している期間をたずねることができる。 ・経験したことを説明することができる。 ・現在までに完了したことを説明すること | 【評価の観点】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の知識・技能 ・英語を用いての思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 |

| | | | |
|---------|---------------------------------|---|---|
| | | <p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人やものについて詳しく説明することができる。 | <p>【評価方法】</p> <p>1. 定期考査の成績</p> <p>2. 学習態度の平常点 (提出物、小テスト、復習テストの成績など)</p> |
| 2 学期 | <p>3. 関係代名詞</p> <p>4. 仮定法過去</p> | <p>・人やものについて詳しく説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の事実に反する仮定や、願望を表すことができる。 | |
| 3 学期 | <p>5. 中学校で習った英文法の総復習</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに習った英文法を適切に使って、様々な表現の文を作ることができる。 | |